

ワークシート

- 1 地域の実情や課題、市民の学習ニーズを踏まえた人権課題、人権問題について、具体的にどのようなものがあるか考えてみましょう。

- 2 様々な人権問題が挙がっていますが、例えば、女性や子ども、高齢者の人権が守られないことについて、共通することがあります。その共通点は何でしょうか。自分の考えを記入してみてください。

- 3 知らないことが、無意識に人権が守られないことにつながる危険性もあります。確かな知識に基づいてではなく、自分の中の「先入観や思い込み」で判断してしまうことはありませんか？ 反対に「先入観や思い込み」のために嫌な思いをしたことはありませんか？ 自分の考えを記入してみてください。

判断してしまったこと

(例)隣人が平日の日中に自宅にいたので、専業主婦(夫)だと思った。

嫌な思いをしたこと

(例)体格で判断されて、運動が苦手だと思われていた。

では、ここまで確認してきた「少数者・弱い(不利な)立場・違い」や「先入観や思い込み」によって人権が守られない状況を生む危険性が高いということを踏まえて、映像を見てみましょう。

- 4 (ビデオ視聴後) 印象に残った場面、気になった場面はありませんか。少し時間をとりますので、隣の人とお互いの考えを話し合ってください。

使用ビデオ「家庭からふりかえる人権 話せてよかった」(令和2年制作 東映 27分)

この作品では、日常の中の思い込みによって生じる問題を描き、相互理解のためのコミュニケーションによって、その問題と向き合うことを提案します。家庭の人間関係は、私たちの人権意識を育む基盤となることに気付かせてくれます。